

人と文化をつなぐ
古民家再生

価値

価値ある古民家・古材

「新しい家を建てる」「空き家になる」などの理由で古民家がどんどん解体されている。

古民家に使われている古材は、樺や桜、栗、檜などに多様である。古材は長い時間をかけて自然乾燥をし、強度を増していく「天然乾燥材」である。樹齢100年の檜の場合、伐採されてから100年後に最も強度が増しているという研究報告もある。その素晴らしい日本の資源を積極的に活用し、「脱酸素社会」や「資源循環型社会」を推進したい。



未来の子どもたちのために



愛知県新城市にある戸田工務店は、奥三河の古民家再生に力を注いでいる。古民家や古材は、保存・再生・利活用することで、さらに50年から100年と住み継ぐことができる貴重な社会的資財です。



Recycle

木材の特性を活かした提案



デザイン性・質感・センスの向上

Refine

Reduce

伝統的な建物や古民家などの再活用



Reuse

古材を構造木材として再使用し、廃棄物を削減

古民家
 と
環境「4R」

海外

への架け橋となる



移築再生

海外からも注目されている日本の伝統技術。海外の方が魅力を感じる日本の伝統的な暮らしは、田舎の古民家にある。古民家再生事業は、日本だけでなく海外まで繋がり、奥三河の空き家をアメリカに移築した。

古民家再生は、SDGsの目標達成に寄与するだけでなく、日本の伝統文化の懸け橋となり、伝統技術や住文化の付加価値を世界に発信している。



奥三河から
 アメリカ・オレゴンへ